

過去を知り 平和について考える

五年生 新聞

感じる 原爆のおそろしさ

十日、平和学習として平和記念資料館・平和公園へ行きました。国語科「たずねびと」で主人公が通った道のりを辿り、原爆ドームや原爆供養塔を見たり、資料館で原爆の被害の様子を学んだりしました。一人一人が真剣な表情で資料館や慰霊碑をめぐり、戦争の恐ろしさや平和の大切さを感じていました。



ピア学年の3年生と折った折り鶴を捧げてきました。



5年担任



平和であることの大切さを感じました。



「原爆が落ちたときの状況は想像がつかなかったが、実際に見ることで恐ろしさが分かった。」「あんなことが現実にあったことが信じられない。」「被爆者が少なくなっている中、戦争の深刻さを伝えていくことが大切。」「平和を願いたい。」など、実際に資料館で実物などを見ることができ、より戦争の恐ろしさを実感したという感想が多くありました。今回の平和学習を通して、平和な世界であるために、私たちにできることを考え続けていきたいです。